

みんな迷惑 放置自転車

10/22(木)～31(土)駅前放置自転車クリーンキャンペーン

▶困ります！自転車置きざり、知らんぷり

放置自転車は、歩行者の障害、特に高齢者や体の不自由な方にとって安全な通行の妨げとなります。また、緊急車両などの通行や災害時の避難・救助活動が困難になるほか交通事故の原因にもなります。

自転車は駐輪場などの決められた場所に置きましょう。

▶放置自転車などは撤去します

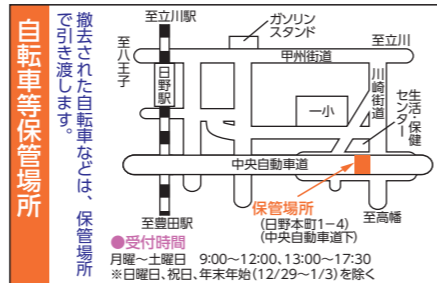
市では放置自転車を撲滅するため、市条例に基づき、自転車等放置禁止区域に放置された自転車は自転車等保管場所（右図参照）に撤去します。

撤去された自転車などの引き取りの際には撤去手

料金を徴収します。なお、引き取りのない自転車などは、2カ月間保管した後に処分します。

撤去手数料(引取時) 自転車2,000円、バイク3,000円

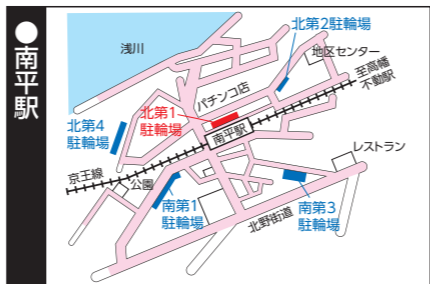
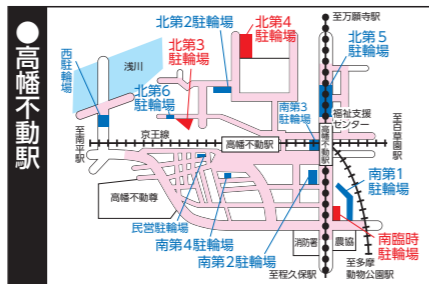
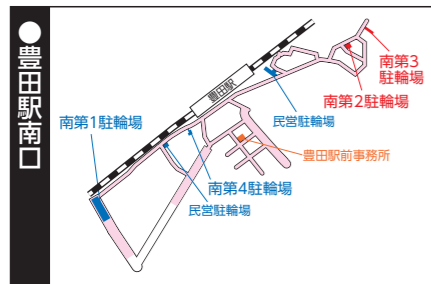
問 キャンペーンについて…防災安全課 **代表☎**、放置自転車・駐輪場について…道路課 **代表☎**



市営駐輪場の一時利用の拡大

日野駅西第3、豊田駅南第3、高幡不動駅北第3・第4・南臨時、南平駅北第1駐輪場で一時利用ができるようになります。また、土曜・日曜日、祝日のみ日野駅東第1、豊田駅南第2で一時利用できます。なお、利用には交通系ICカード(Suicaなど)が必要です。詳細は日野駐研・高見沢共同事業体 **☎514-8732** へお問い合わせください。

問 道路課 **代表☎**



■日野市発！新たなビジネスが生まれています

市では、創業スクールや創業相談など、さまざまな創業支援事業を行っています。今後も、10/26から開設するPlanT（多摩平の森産業連携センター）※を拠点に、新たなビジネスの創出を支援していきます。※詳細は9/1号広報、市報を参照

問 産業振興課 **代表☎**

■表紙のひと

日野市創業スクール卒業生の皆さま

- 【左上から】須田満さん(ダイエット指導Personal Studio 326)
- 前田裕美子さん(株スビカ・プレイス)
- 北村淳さん(北村淳建築設計事務所)
- ロベルト・ロヨラ・サトウさん(ペルー料理 ラス パパス)
- 杉崎聡美さん(ナチュラルフレンチ kizagisu)
- 山崎立暎さん(馬カフェ マリヤの風)
- 石垣和子さん(シニア頭脳バンク)



4/2～8/27に 乳幼児健診を受けた方へ

ポイント追加付与

～ひのくるポイントキャンペーンに伴うひの新選組ポイント追加付与

9/1から乳幼児健診を受けた方に500ポイント付与を開始しました。4/2～8/27に生活・保健センターで実施した乳幼児健診を受診した方で100ポイントを付与された方には差分の400ポイントを追加付与します。

ポイント付与期間 10/29(木)～11/4(水) 8:30～12:00※土曜・日曜日、祝日を除く

会場 健康課(生活・保健センター)

対象 4/2～8/27に実施の3～4カ月児・1歳6カ月児・3歳児健診で100ポイントを付与された方

持ち物 健診受診日の方の母子健康手帳、ひの新選組WAONカード

問 産業振興課 **代表☎**、健康課 **☎581-4111**

10/25(日) 9:00～12:00

日野市総合防災訓練を実施

会場 日野中央公園、万願寺中央公園※万願寺交流センター含む

地震や大雨、洪水、土砂災害などによる災害が発生した場合は市や消防署などの「公助」による支援が行われます。しかしこの「公助」は被害が大きければ大きいほど、すぐに、全ての地域に行くことは困難となるため、地域に一番近く、地域をよく知る地域の皆さまの力による「共助」や、日頃から心得・備えをしておく「自助」が必要となります。災害による被害を最小限にとどめるためには、「自助」「共助」「公助」の役割分担を日頃から明確にし、それぞれが役割を理解した上で連携して災害に対応することが重要です。

今回の訓練では「自助」の向上のための各種体験訓練および展示ブース、「共助」としてのボランティアなどによる初期消火訓練など、「公助」としての各関係機関が連携した救助救出訓練や緊急医療救護所の開設および運営訓練などを実施し、「自助」「共助」「公助」による災害に強いまちづくりの推進を図ります。近年の災害などを踏まえ、より充実した「日野市総合防災訓練」にぜひご参加ください。

問 防災安全課 **代表☎**

＜日野中央公園会場＞

▶訓練

- ・消防、警察、自衛隊、関係機関、日野市などによる被災者の救出訓練および医療関係団体による救護訓練
- ・市災害対策本部各対策部による実践的な各種訓練
- ・災害初動緊急地区担当員※による指定避難所(市内小・中学校25校)開設と開設完了後の通信訓練
- ・市の情報発信ツールを活用した情報伝達訓練

※夜間や休日など施設職員が不在の場合でもいち早く施設に向き、指定避難所として開設するなどの役割を担う施設近隣に居住する市職員

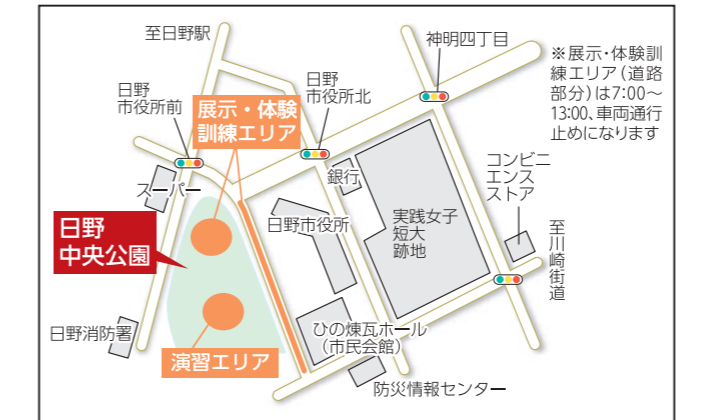
▶体験

煙体験、起震車体験、初期消火体験、応急給水訓練など

▶展示

自衛隊、消防署、警察署、消防団の車両・装備、参加団体による医療、電気、ガスなどの防災に関する説明、専門家による防災アドバイス、住宅耐震化無料相談など

※数量限定で自衛隊員や日赤奉仕団員が作るできたての陸上自衛隊特製カレーを配布



＜万願寺中央公園・万願寺交流センター会場＞

医療関係団体による被災者の救護訓練を実施します。なお、会場利用に一部制限がかかります。災害に強いまちづくりを推進するため、ご理解・ご協力をお願いします。



【参加機関】

日野市消防団、東京消防庁、警視庁、陸上自衛隊、東京都下水道局、東京都水道局、東京南農協、東京電力、東京ガス、NTT、日野市医師会、日野市歯科医会、南多摩獣医師会日野部会、東京都柔道整復師会南多摩支部、日野市薬剤師会、日野市社会福祉協議会、日赤奉仕団、LPガス協会、日野市災害対策協力会など



※日野市消防団は、地域により第一分団から第八分団で構成されています

【息の長い消防団ライフを！日野市消防団第五分団】

担当地域 宮、新井、上田、石田、万願寺、神明
分団構成 2部 40人

消防車両 消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台

●団員定着率トップクラス！●

第5分団は、中央道以南の多摩川右岸・市民プール以東の浅川左岸など、河川に挟まれた地域で、広い活動面積を担当しています。団員は20～60歳代と幅広い年齢構成で、バランスがとれた分団です。

第5分団は多くの歴代団長を輩出しており、消防団員の育成における環境づくりに自信を持っています。現在1部2部ともに定員の20人が所属し、居心地の良さから、団員定着率ナンバーワンを自負しています。

災害対応のほかに、防災訓練、どんど焼き、盆踊りなどに参加し、多種多様な職業を持つ団員が、それぞれの特技や土地勘を存分に生かした地域活動をしています。



また、団員家族を含めたバーベキューやボウリング、日帰り旅行など、交流を深める行事もあります。地域のために活動したい方、交流の幅を広げたい方の入団を団員一同心よりお待ちしております。

※次回は第六分団について紹介します

問 防災安全課 **代表☎**